

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

学校名(京都市立向島中学校)

3 2回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成27年3月2日	評価日	平成27年3月9日
						評価者・組織	運営委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援 策
1	確かな学力	言語活動の充実と授業改善 すべての教科において学びあい学習やグループワークを意識して取り入れる等を旨とした授業改善。 学力向上プロジェクト委員会の活性化	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	授業は分りやすく工夫されている92% 授業では話し合い活動が取り入れられている85% 毎時間の授業で学習のねらいが示されている89%	⇒	・各教科でグループ学習、言語力の育成を意識して取り組めた。 ・学力向上プロジェクトや教科主任会において、学習確認プログラムや全国学力調査の分析や交流を図り、課題の共有に努めた。 ・研究授業や研究協議共に教員が目的、研究主題を意識して取り組むことが出来、より深く研究が進められた。 ・家庭学習の定着に向けて、ノート作りにポイントを	・言語活動の充実や学びあい学習については、取組の中で不十分さを感じている部分もあるため、さらなる工夫された取組を推進していく。 ・家庭学習の在り方に向けた取組の再検討を行っていく。特に、自学自習に向けた取組の工夫を進めていく。 ・授業規律の確立。 ・家庭との連携を深める。 ・学力向上プロジェクトをさらに機能させる。 ・授業研修や授業公開を	・休日参観や平日の授業参観、公開授業日等を通して、概ね落ち着いた授業を受けられていると感じる。 また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じる事が出来る。さらに、取組を推進して欲しい。	・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。
	豊かな心	読書活動の推進 朝読書の取組 昼休みや放課後の図書館開館 ブックフェアの開催 移動図書館	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	朝読書や家庭で進んで読書をしている70%	⇒	・学校内や地域への美化ボランティア活動を通して、貢献できているという自己有用感が育まれつつある。 ・学年作りや学級作りを通して「仲間作り」が進み、その結果としてリーダーが育ってきている。 ・3年生での茶道体験やふれあいトーク等を通して地域交流を行い、様々な人とのふれあいから、礼儀作法や節度を持って礼儀姿勢を形成するなど、	・生徒自主的に活動を行い、達成感を持つことが出来るような取組を、計画的に且つ工夫していく事を推進していく。 ・生徒会活動をさらに活発化させていく。 ・道徳の教科化に向けて、しっかりと実践を推進していく。 ・全校清掃の取組は継続して行い、生徒の協働意識を高める。 ・スマホやラインのトラブルが増加している中、情報モ	・休日参観や平日の授業参観、公開授業日等を通して、概ね落ち着いた授業を受けられていると感じる。 また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じる事が出来る。さらに、取組を推進して欲しい。	・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。
	豊かな心	温かな学校・学年・学級作り(協働の意識) 人権を尊重する意識の向上 規範意識の醸成	毎日の全員清掃の取組 様々な学校や学年行事の取組 人権学習 性教育 国際理解教育 道徳・教科を通した人権教育 生徒会を中心とした様々な活動	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	⇒	・学校内や地域への美化ボランティア活動を通して、貢献できているという自己有用感が育まれつつある。 ・学年作りや学級作りを通して「仲間作り」が進み、その結果としてリーダーが育ってきている。 ・3年生での茶道体験やふれあいトーク等を通して地域交流を行い、様々な人とのふれあいから、礼儀作法や節度を持って礼儀姿勢を形成するなど、	・生徒自主的に活動を行い、達成感を持つことが出来るような取組を、計画的に且つ工夫していく事を推進していく。 ・生徒会活動をさらに活発化させていく。 ・道徳の教科化に向けて、しっかりと実践を推進していく。 ・全校清掃の取組は継続して行い、生徒の協働意識を高める。 ・スマホやラインのトラブルが増加している中、情報モ	・休日参観や平日の授業参観、公開授業日等を通して、概ね落ち着いた授業を受けられていると感じる。 また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じる事が出来る。さらに、取組を推進して欲しい。	・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。
3	豊かな心	基本的な生活習慣の確立	生徒会活動の活性化による点検活動と呼びかけ・啓発活動	健康生活アンケート(小中連携)	⇒	・小・中学校と連携し、共通のアンケートを実施した。保健室来室時の個別指導、保健便り、掲示物を利用した集団指導、委員会活動を利用したの保健指導に取り組み、基本的な生活習慣の実態把握と確立に努めた。	・生徒の健康課題を明確化することにより、行動変容に繋がる取組を推進していく。 ・保健便り等を通して保護者啓発を行うとともに、保護者との連携を深める。	・家庭における基本的な生活習慣を確立させることが重要であると感じる。	・地域、家庭と学校との連携を図るため、より支援を行ってきたい。
4	独自の取組	生徒十訓の取組	生徒十訓の日 生徒十訓ばかり週間	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	⇒	・「生徒十訓」への意識がある程度定着し、その取組を基盤として、安定した学校生活に繋がってきている。	・生徒会を中心に、さらに生徒自身が主体的に「生徒十訓」の取組を推進していく。 ・小中連携に関しては、小中一貫教育校創設に向けて、さらに細かく深い連携を推し進めていく。	・小中一貫校創設に向けて具体的に進み出したので、今後のより細かい動きに対しても情報交流が大切である。	・地域と学校の架け橋となり、より支援を行ってきたい。
	独自の取組	小中連携	小中各種主任会の実施 オーブンスクールの実施		⇒	・小中一貫教育校創設に向けて、研究授業や研究協議の相互参加、授業参観への参加等、連携を深めることが出来た。		・生徒十訓の取組は大切であると思われるので、引き続き継続して行ってほしい。	

4 総括・次年度の課題

・学力向上においては、2年生を中心として大きく前進している。授業作りや学習課題に対する取組などの成果と思われる。しかし、学ぶ意欲や学習意欲になかなか繋がっていない、家庭学習時間の低さなど課題はまだ多い。これからの、自律的かつ協働的な学びというものを具現化していくことが重要である。
・心の育成は、人として自立していくための根幹であり、重点化していかなくてはならない課題である。生徒十訓の定着や道徳教育、生徒会活動の活性化に、より計画的かつ創意工夫が必要である。
・すべての学校生活の基盤は学級であり、一人一人が認められ、自己有用感の高い学級には、温かきが有り、間違いなく学力向上に直結すると思われる。その学級作りを重要な柱とした取組を推進してきたい。